

胚細胞腫瘍

1	BEP
2	EP
3	M P

化学療法計画書

治療法名	胚細胞腫瘍：BEP		
コース数	1	コース目	
治療法コード			
患者名		性別	年齢
患者ID		生年月日	
部署		主治医	科 Dr

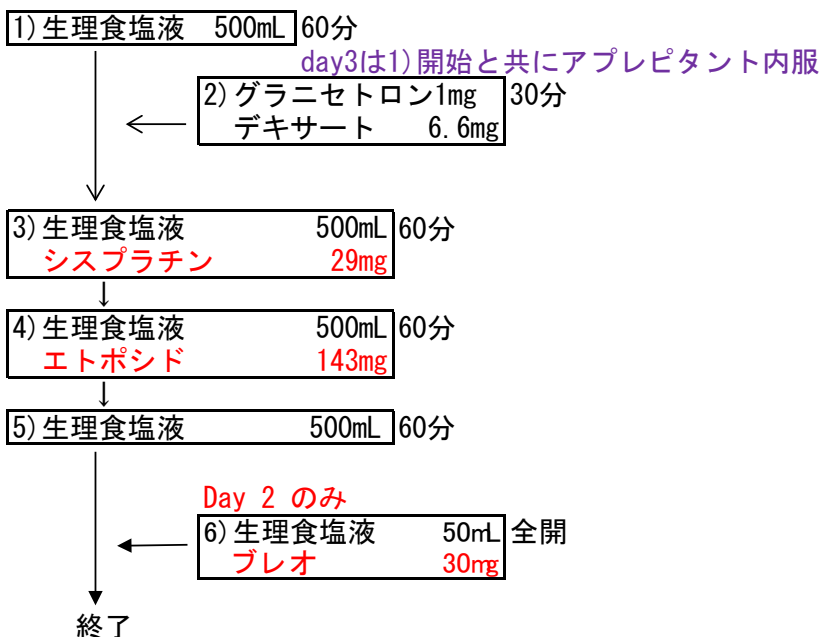
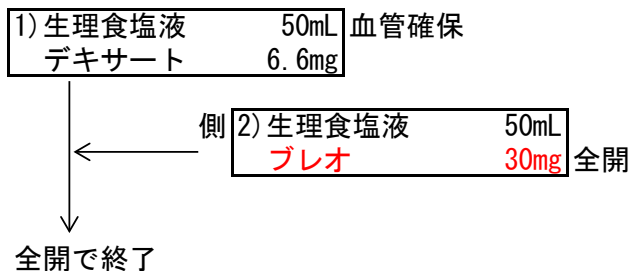
開始予定日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	9	16	22
シスプラチン 20 mg/m ²	予定日	1/0							1/8	1/15	1/21
エトポシド 100 mg/m ²		↓	↓	↓	↓	↓					↓
ブレオ 30 mg						↓				↓	↓
グラニセトロン 1mg		↓	↓	↓	↓	↓					↓
デキサート 6.6mg		↓	↓	↓	↓	↓		↓		↓	↓
アプレピタント 125mg				↓							↓
アプレピタント 80mg						↓	↓	↓			↓
治療開始日					治療間隔			3週毎	予定コース数	コース	
身長	150	cm	体重	50	kg	BSA	1.43	m ²			
eGFR	60	mL/min	eGFR/BSA	50	mL/min						

Day 1-5

Day 9, 16

投与可否の基準
・ WBC>3,000, かつ好中球>1,500
・ Plt>100,000
・ 発熱なし
・ AST/ALT≤100, T. Bil≤1.5 (T-Bil : 1.5-3⇒ETOP50%量)
・ Cr≤1.2
・ PS 0-2
減量基準
・ G-CSFを使用して治療スケジュールを順守する。
・ 肝障害、腎障害時、減量考慮

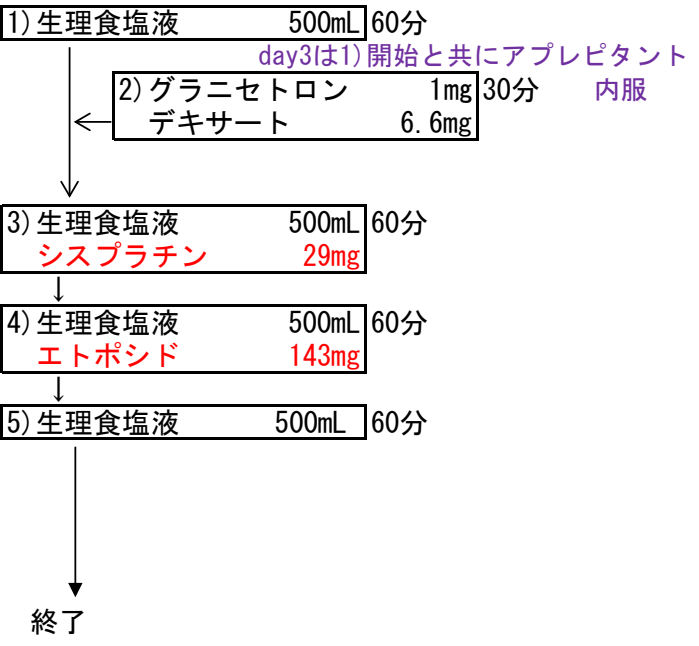


化学療法計画書

治療法名		胚細胞腫瘍：EP									
コース数		1		コース目							
治療法コード											
患者名	名前を入力			性別	年齢						
患者ID	IDを入力		生年月日								
部署	指示部署を入力		主治医	科	Dr						
開始予定日											
治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	9	16	22
	予定日	1/0			1/8			1/15			1/21
シスプラチン	20 mg/m ²	↓	↓	↓	↓	↓					↓
エトポシド	100 mg/m ²	↓	↓	↓	↓	↓					↓
グラニセトロン	1mg	↓	↓	↓	↓	↓					↓
デキサート	6.6mg	↓	↓	↓	↓	↓					↓
アプレピタント	125mg			↓							↓
アプレピタント	80mg			↓	↓	↓	↓				↓
治療開始日					治療間隔			3週毎	予定コース数		コース
身長	150	cm	体重	50	kg	BSA	1.43		m ²		
eGFR	60	mL/min	eGFR/BSA	50		mL/min					

Day 1-5

投与可否の基準 ・WBC>3,000, かつ好中球>1,500 ・Plt>100,000 ・発熱なし ・AST/ALT≤100, T.Bil≤1.5 (T-Bil : 1.5-3 : ETOP50%量) ・Cr≤1.2 ・PS 0-2
減量基準 ・G-CSFを使用して治療スケジュールを順守する。 ・肝障害、腎障害時、減量考慮



化学療法計画書

2025年12月改訂

治療法名	VIP (ETOP+IFM+CDDP)		
コース数		コース目	
腫瘍種	胚細胞腫瘍		
患者名		♂	年齢
患者ID	生年月日		
部署	主治医	科	Dr

開始予定日

治療内容	Day	1	2	3	4	5	6	7	8	...	15	...	22	...
	予定日	1/0							1/7		1/14		1/21	
エトポシド	100 mg/m ²	↓	↓	↓	↓	↓							↓	↓
シスプラチン	20 mg/m ²	↓	↓	↓	↓	↓							↓	↓
イホマイド	1200 mg/m ²	↓	↓	↓	↓	↓							↓	↓
グラニセトロン	1mg	↓	↓	↓	↓	↓								
デキサート	9.9mg	↓	↓	↓	↓	↓								
ウロミテキサン	300 mg/m ² ×3	↓	↓	↓	↓	↓								
アプレピタント	125mg	↓	↓	↓	↓	↓								
アプレピタント	80mg	↓	↓	↓	↓	↓								
デカドロン	8mg						↓	↓						
治療開始日									治療間隔	3~4週毎	予定コース数		コース	
身長	150 cm	体重	50 kg	BSA	1.433 m ²									
eGFR	60 mL/min	eGFR/BSA	50 mL/min											

投与開始基準
・ WBC>3000, 好中球>1,500, Plt>100,000
・ AST/ALT<100, T-Bil<1.5
・ Cr<1.2, CCr>60 (<30で75%量)
・ G2以上の非血液毒性なし
減量基準
・ WBC<1,000, Plt<25,000
・ 発熱性好中球減少
・ G3の非血液毒性

day2~5のアプレピタントは朝食後
デカドロンはDay6の朝より2日間

day1から5日間体重測定 (AM)
→ 1kg増えたら利尿薬考慮 (医師に相談)

